黒田節

本調子

さけはのめのめのむなら

老	○	四	中	中	四	老	乙
老	四	中	中	四	老	乙	老
中	尺	中	上	老	上	中	尺
上	老	上	中	尺	中	上	老
上	中	尺	老	上	老	上	中
尺	五	尺	中	上	中	尺	五

ばひのもといちの

中	○	○	○	○	上	中	上
中	○	○	○	○	上	中	尺
尺	五	尺	中	上	中	尺	五

このやりをのみとる

中	中	尺	中	上	老	上	中
中	○	○	○	老	老	四	中
四	老	乙	乙	老	四	老	乙

ほどにのむならば

老	四	老	乙	老	四	中	○
四	老	乙	老	四	中	○	四
老	乙						

これぞまことのくろだぶし

尺	○	五	尺	中	六	七	六
五	尺	中	六	七	六	五	尺
五	中	尺	中	上	老	上	中
中	○	○	○				

一、酒は飲め飲め　飲むならば
日（ひ）の本（もと）一の　この槍
（やり）を
飲みとるほどに　飲むならば
これぞまことの　黒田武士

二、峰（みね）の嵐か　松風か
訪（たず）ぬる人の　琴の音（ね）
か
駒をひきとめ　立ち寄れば
爪音（つまおと）高き　想夫恋（そ
うふれん）

三、春の弥生（やよい）の　あけぼのに
四方（よも）の山辺を　見渡せば
花のさかりも　白雲の
かゝらぬ峰こそ　なかりけれ

四、花たちばなも　匂うなり
軒（のき）の菖蒲（あやめ）も　か
おるなり
夕暮れ前の　五月雨（さみだれ）に
山ほととぎす　名のりして